

## 平成 16 年度麻酔科学事報告

### 1. 人 事

助教授 近江禎子

助手 内海功、湯本正寿、河村優子、木田康太郎、松田苑生、甫母章太郎、小崎佑吾、  
平林万紀彦

### 2. 学位取得

庄司 和広

### 3. 主催学会

第19回日本ペインクリニック学会東京地方会 会長:羽尻裕美

### 4. 留学

開始:照井貴子(大阪大学:平成16年7月から1年間の予定)

岩井健一(千葉大学:平成17年4月から1年間の予定)

終了:近藤一郎(UCSD:平成14年7月から平成16年6月まで)

斉藤敬太(札幌医大:平成15年7月から平成16年6月まで)

### 5. 論文発表

Masaki E, Yamazaki K, Hori S, Kawamura M. [<sup>3</sup>H] , -methylene ATP binding to P2X purinoceptor is unaffected by volatile anaesthetics. Eur J Anaesth 2004; 21:221-5.

Masaki E, Kawamura M, Kato F. Attenuation of gap-junction-mediated signaling facilitated anesthetic effect of sevoflurane in the central nervous system of rats. Anesthe Analg 2004; 98: 647-52.

Masaki E, Shoji K, Saito H, Yamazaki K, Kawamura M. Effect of volatile anesthetics on steroidogenesis in isolated bovine adrenocortical fasciculate cells. J Pharmacol Sci 2003; 93: 210-3.

Masaki E, Saito H, Shoji K, Matsushima M. Postoperative analgesic effect of epidural neostigmine and plasma cortisol and IL-6 responses. J of Clinical Anesthesiology 2004; 16: 488-92.

Mio Y, Fukuda N, Kusakari Y, Amaki Y, Tanifuji Y, Kurihara S. Comparative effects of bupivacaine and ropivacaine on intracellular calcium transients and tension in ferret ventricular muscle. Anesthesiology 2004; 101: 888-94.

Shoji K, Saito H, Masaki E. Epidural neostigmine Co-administered with ropivacaine does not improve stress responses or postoperative pain status. Jikeikai Med J 2004; 51: 91-6.

Saito H, Shoji K, Masaki E. Effects of Continuous Epidural Infusion of Neostigmine on Postoperative Pain Status and Inflammatory Responses. Jikeikai Medical J 2005; 52: 7-13.

正木英二, 斉藤洋一, 小笠原幹英, 大橋伸介, 金子健二郎. 気管挿管時に筋弛緩薬あるいはスチレットを使用する意義. 日臨麻 2004; 24(4): 162-8.

鹿瀬陽一, 加藤尚彦, 小幡 徹, 西田英明, 堀口 徹, 笠井健司, 正木英二, 谷藤泰正. 敗血症患者の酸化ストレスの推移. エンドトキシン血症救命治療研究会誌 2004; 8(1): 84-8.

鹿瀬陽一, 正木英二, 谷藤泰正. 下部消化管穿孔性腹膜炎に術後早期よりシベレスタットナトリウム水和物を投与し多臓器障害より離脱した1例. *Progress in Medicine* 2004; 24(11): 2869-71.

桜井淑男, 小幡徹, 堀口徹, 鳥海和弘, 鹿瀬陽一, 谷藤泰正. 食道癌, 肺癌患者の周術期血中エンドカンナビノイドの変動について. *日集中医誌* 2004; 11:143-4.

## 6. 学会発表

ASA 2004 Annual meeting Las Vegas

Masaki E, Yasui Y, Saito H, Mio Y, Kato F. Esmolol facilitates inhibitory neurotransmission in the substantia gelatinosa of the spinal trigeminal nucleus of the rat.

Akai R, Kaneko M, Utsumi I, Takinami M, Tanifuji Y. Longitudinal study about postanesthetic mental damage of pediatric Patients.

Yasui Y, Shoji K, Kato F, Masaki E. Sevoflurane Affects Multiple Membrane Conductance Underlying Excitability control in the locus coeruleus of the rat.

IARS 79th Clinical & Scientific Congress Honolulu

Kase Y, Tanifuji Y. Removing endogenous cannabinoids using direct hemoperfusion therapy with polymyxin-B immobilized fiber in septic patients.

Ota S, Utsumi I, Takinami M, Tanifuji Y. Effect of landiolol, a new ultra short-acting beta-blocker, on minimum alveolar concentration (MAC) in dogs.

日本麻酔科学会第51回学術集会. 名古屋

尾崎雅美, 鳥海和弘, 加賀谷 慎, 井上大輔, 田中正史, 廖 英和. 日帰り経尿道的前立腺切除術に対する脊椎麻酔施行後の硬膜穿刺後頭痛の発生率について.

倉田 豊, 赤井良太. 脳出血定位脳手術におけるラリンジアルマスクによる気道管理.

河村優子, 鹿瀬陽一, 庄司和広, 村山雄一, 阿部俊昭, 谷藤泰正. 脳血管内手術とクリッピング手術の比較.

照井貴子, 松田苑生, 太田修司, 藤原千江子, 香川草平, 谷藤泰正. 術後回復室における経鼻呼気炭酸ガス分圧測定の有用性の検討.

松田苑生, 小崎佑吾, 河村優子, 安藤和美, 藤原千江子, 谷藤 泰正. 経鼻終末呼気炭酸ガスモニターを用いた慢性閉塞性肺障害合併患者の開腹術の麻酔管理.

大石恭子. 患者からみた硬膜外麻酔の満足度.

桜井淑男, 小幡 徹, 石井 雄二, 金井 秀樹, 谷藤泰正. 肝硬変・肝癌患者における血清内因性カンナビノイドの悪影響について.

長沼恵子, 近江禎子, 柴崎敬乃, 三尾寧, 小野沢裕史. 巨大腹部腫瘤に対する麻酔管理 - 7症例の報告 - .

太田修司, 吉川衛, 庄司和広, 杉崎正志, 谷藤泰正. 鼻内前処置に使用するエトネフリンおよびフェニレフリンの鼻粘膜収縮から観た至適濃度の検討.

甫母章太郎, 平林万紀彦, 安藤和美, 井上大輔, 羽尻裕美, 谷藤泰正. 脊髄癆に伴う疼痛にオピオイドが著効した一例.

鹿瀬陽一, 河村優子, 高尾洋之, 村山雄一, 阿部俊昭, 谷藤泰正. 手術室内に開設した脳血管

内治療センター.

羽尻裕美, 横田美幸.(シンポジウム) 医療保険制度と麻酔科診療 - 明日の麻酔科(医)のために

木田康太郎, 照井貴子, 太田修司, 藤原千江子, 香川草平, 谷藤 泰正. 回復室における経皮的炭酸ガス分圧測定の有用性の検討.

#### 第 24 回日本臨床麻酔学会 大阪

内海功, 羽尻裕美, 安藤和美, 木口貴夫, 谷藤泰正. 気象変化と痛みの相関性について.

湯本正寿, 松田苑生, 木田康太郎, 内海功, 小崎祐吾, 藤原千江子, 香川草平, 谷藤泰正.

2種類の非侵襲的炭酸ガス分圧測定を併用したプロポフォール鎮静下硬膜外併用脊椎麻酔の麻酔経験.

小崎祐吾, 安藤和美, 大友博之, 谷藤泰正, 首藤義幸. 整形外科手術における駆血帯使用前後の血液凝固能の変化についての検討.

岩井健一, 生田目英樹, 根津武彦, 鹿瀬陽一, 瀧川和俊, 陳剏一, 谷口正幸. 術中肺血栓症を発症し, 外科的血栓除去術を要した一症例.

#### 日本麻酔・薬理学会第 26 回学術大会. 東京

太田修司, 吉川衛, 庄司和広, 瀧浪将典, 谷藤泰正. 経鼻挿管時の鼻出血予防エピネフリンおよびフェニレリンの使用法について.

太田修司, 瀧浪将典, 谷藤泰正. ランジオロールのセボフルランMACに対する影響.

#### 日本ペインクリニック学会第 38 回大会. 東京

小崎祐吾, 木口貴夫, 内海功, 松田苑生, 平林万紀彦, 甫母章太郎. ペインクリニックに於ける東洋医学の検討.

#### 第 17 回日本老年麻酔学会 金沢

木田康太郎, 河村優子, 斉藤洋一, 庄司和広, 正木英二, 谷藤泰正. 呼吸不全患者に対して, 鎮痛薬にデクスメトミジンを使用して安全に管理できた症例.

小崎祐吾, 近江禎子, 柴崎敬乃, 長沼恵子, 川田亜紀子, 甫母章太郎, 近藤一郎, 山口聡. 等比重 0.5% bupivacaine 脊髄くも膜下麻酔の高齢者と若年者の比較検討.

辻 和馬, 内海 功, 生田目英樹, 三尾 寧, 藤原千江子, 谷藤泰正. 原因不明の心停止を来たした高齢者の麻酔経験

#### 第 32 回日本集中治療医学会学術集会 東京

斉藤敬太, 鹿瀬陽一, 内海功, 安井豊, 根津武彦, 谷藤泰正. アマンガマイド投与による血圧と血中濃度の相関.

鹿瀬陽一, 斉藤敬太, 岩井健一, 堀口徹, 岡本靖久, 根津武彦, 谷藤泰正. 敗血症患者の内因性大麻の推移からみた新たな治療の方向性.

鹿瀬陽一. (特別企画)若手集中治療医の集い - 集中治療医をふやすにはどうしたらよいか? - .

#### 日本麻酔学会東京・関東甲信越支部第 44 回合同学術集会 つくば

大谷法理, 上出正之, 河村優子, 藤原千恵子, 香川草平, 谷藤泰正. 過去の上気道感染がトリガーとなって重篤な気管支痙攣を発症した1例.

平林万紀彦, 藤原千江子, 上出正之, 谷藤泰正. 右室二腔症合併妊娠の帝王切開術の麻酔経験.

小山千尋, 内海 功, 須永 宏, 赤井良太, 木口貴夫, 谷藤泰正. 抜管後の気道狭窄に nasaIDPAP が有効であった乳児例.

内海 功, 鹿瀬陽一, 谷藤泰正. 慢性腎不全と伴う血清コリンエステラーゼ欠損症患者の全身麻酔の一例.

#### 第 13 回日本集中治療医学会関東甲信越地方会 横浜

内海 功, 鹿瀬陽一, 川村優子, 高尾洋之, 村山雄一, 根津武彦, 谷藤泰正. 診断から治療までの迅速化を目的にした脳血管内治療センター.

#### 第 19 回日本ペインクリニック学会東京地方会 東京

木田康太郎, 齋藤洋一, 羽尻裕美. 直腸膀胱腔漏の異和感に対し、くも膜下フェノールブロックが有効だった1症例.

太田修司, 木口貴夫, 羽尻裕美, 西山美鈴. 三叉神経領域に対する神経ブロック口内法.

中川清隆, 荒川一男, 堺勝弘, 柳田尚. 交通事故後遺症認定に関わるCRPS の診断 - 患者支援団体(NPO) の関与する1症例

#### 第 9 回エンドトキシン血症救命治療研究会 盛岡

鹿瀬陽一.(シンポジウム)2-AG の吸着除去を指向した PMX 治療.

鹿瀬陽一.(多施設臨床研究報告 - 2) Sepsis に対する PMX-DHP の治療効果検討研究会報告.

遠藤新大, 斉藤敬太, 鹿瀬陽一, 加藤尚彦, 横山啓太郎, 笠建司, 堀口徹, 正木英二, 小幡徹, 谷藤泰正.(ワークショップ)PMX 前後での血小板および内因性大麻の推移.

岩井健一, 小幡 徹, 鹿瀬陽一, 根津武彦, 谷藤泰正, 斉藤敬太, 松田弥生, 尾崎雅美.(ワークショップ)使用後ポリミキシンB固定化カラムにおける内因性大麻とイソプロスタンの吸着分布の検討.

斉藤敬太, 鹿瀬陽一, 遠藤新大, 小幡 徹, 正木英二, 谷藤泰正.(ワークショップ) 感染モデル兔におけるアナンダマイド、COX 阻害薬投与の影響.

#### 東京麻酔専門医会症例検討会 東京

幸田公人, 三尾寧, 藤原千江子, 瀧浪将典, 谷藤泰正. 術中ショックを起こした帝王切開術の一例... なっ何が? 皆で考えましょう!

#### 第 121 回成医会

瀧浪将典. 新研修医制度を踏まえた麻酔科研修カリキュラムの紹介.

#### 第 95 回成医会第三支部例会

岩井健一, 尾崎雅美, 根津武彦. 術中の肺血栓塞栓症の診断と予防.

#### 第 30 回成医会柏支部例会

近江禎子. (診療部長口演) 脊髄くも膜下麻酔 spinal anesthesia-麻酔の広がりについて - .  
長沼恵子、近江禎子、柴崎敬乃、小野沢裕史、三尾 寧. 近江巨大腹部腫瘍に対する麻酔管理  
7症例の報告 .

## 7. 医局会

5月22日 麻酔科学会予演会

6月12日 報告勉強会(本院)

症例検討会「術後悪性高熱が疑われた一例」

6月28日 抄読会

・Horloke TT et al. Regional anesthesia in the anticoagulated patient: Defining the risks (the second ASRA Consensus Conference on Neuraxial Anesthesia and Anticoagulation). *Regional Anesthesia and Pain Medicine*,28: 2003; 172-197

7月10日 ペインクリニック学会予演会、報告勉強会(青戸、第三、柏)

7月24日 抄読会

・Scher CS, Gitlin MC. Dexmedetomidine and low-dose ketamine provide adequate sedation for awake fiberoptic intubation. *Can J Anaesth.* 2003; 50(6):607-10.

・Arain SR, Ruehlw RM, Uhrich TD, Ebert TJ. The efficacy of dexmedetomidine versus morphine for postoperative analgesia after major inpatient surgery. *Anesth Analg.* 2004; 98(1):153-8.

9月11日 報告勉強会(富士、厚木)、近藤先生帰朝報告

9月25日 症例検討会「プロポフォール使用にて横紋筋融解症をきたした一例」

10月 9日 臨床麻酔学会、ASA予演会

抄読会

・Mokri B: Headaches caused by decreased intracranial pressure: diagnosis and management. *Curr Opin Neurol.* 2003 Jun;16(3):319-26.

・Safa-Tisseront V et al: Effectiveness of epidural blood patch in the management of post-dural puncture headache. *Anesthesiology.* 2001 Aug;95(2):334-9.

11月13日 報告勉強会(本院)

11月27日 抄読会

・Viscusi ER: Emerging techniques in the treatment of postoperative pain. *Am J Health Syst Pharm.* 2004; 15(61): S11-4.

・Viscusi ER et al: Patient controlled transdermal fentanyl hydrochloride vs intravenous morphine pump for postoperative pain: a randomized controlled trial. *JAMA.* 2004;291(11): 1333-41

12月11日 症例検討会「術後回診アンケートについて」

抄読会

・White PF et al. Use of a continuous local anesthetics infusion for pain management after median sternotomy. *Anesthesiology* 2003; 99: 918-23

1月22日 報告勉強会(大宮、汐見、社保東京北)

2月 5日 報告勉強会(青戸、柏)

症例検討会「たこつば型心筋症の麻酔」

3月12日 報告勉強会(第三、宇都宮、川口)

抄読会

・Myles PS et al. A systematic review of the safety and effectiveness of fast-track cardiac anesthesia. Anesthesiology. 2003 ;99(4):982-7.

・Sandham JD et al. A randomized, controlled trial of the use of pulmonary-artery catheters in high-risk surgical patients. N Engl J Med.2003 ; 348(1):5-14.

3月26日 年度末総括

## 8. 会 合

5月14日 新入局者歓迎会(芝パークホテル)

7月29日 納涼会(浜松町東京會館)

12月28日 忘年会(六本木 SENSES)

3月26日 年度末打ち上げ(東京プリンスホテル)